



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 チヨダウーテ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5387 URL <http://www.chiyoda-ute.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 晴久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 種田 貴志 (TEL) 059-364-5215
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	14,473	1.0	△378	—	△186	—	△182	—
2019年3月期第2四半期	14,334	△6.9	△445	—	△403	—	△320	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △174百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 △378百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△10.56	—
2019年3月期第2四半期	△18.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	33,176	12,309	37.1
2019年3月期	35,425	12,540	35.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 12,302百万円 2019年3月期 12,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	2.8	250	—	300	—	200	—	11.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	17,670,000株	2019年3月期	17,670,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	418,768株	2019年3月期	418,768株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	17,251,232株	2019年3月期2Q	17,251,232株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(主要な関係会社の異動)

当第2四半期連結会計期間において、連結子会社でありました東京アークシステム株式会社の株式を売却したため、連結の範囲から除外しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、海外経済の減速に伴う輸出低迷を背景に横這い圏での推移が続いており、今後も米中貿易摩擦の一段の激化による輸出低迷が長期化するリスクや消費税率引き上げによる個人消費の落ち込みリスク等を抱え、依然として先行き不透明感が拭えない状況が続いております。

住宅市場におきましては、2018年度末までに契約を締結すれば、2019年10月以降においても旧税率の適用が受けられることが影響し、持家はこの7月まで10ヶ月連続で前年同月水準を上回る伸びを示し一定程度の駆け込み需要が発生しましたが、8月と9月は減少に転じております。加えて貸家の大幅な減少は依然として続いており、2019年度第2四半期連結累計期間における新設住宅着工戸数は466千戸（前年同四半期比5.0%減）と減少しました。

石膏ボード業界におきましては、2019年度第2四半期連結累計期間における製品出荷量は246百万㎡（前年同四半期比2.6%増）と増加しております。これは、出荷量の動向が新設住宅着工戸数の増減動向より数か月程度遅れる傾向がある為、前期末にかけての緩やかな駆け込み需要の影響が当該期に押し上げ効果として現れたものと考えられます。

当社グループにおきましては、主力石膏ボードの事業採算改善が急務であり、新規の販路拡販によるトップライン引き上げとともに、高騰する運賃コスト等の経費抑制に注力しております。また例年第2四半期連結累計期間は、ゴールデンウィークとお盆休みを利用して工場設備の改修更新を集中して実施することからメンテナンス費用が膨らむ傾向にありますが、年度後半の需要期に備え計画的に整備を進めております。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は144億73百万円（前年同四半期比1.0%増）、営業損失は3億78百万円（前年同四半期は営業損失4億45百万円）、経常損失は1億86百万円（前年同四半期は経常損失4億3百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億82百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億20百万円）となりました。

当社グループは単一セグメントであるため、セグメントの業績は記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、331億76百万円（前連結会計年度末比22億49百万円減）となりました。

流動資産の減少（前連結会計年度末比17億56百万円減）は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比12億65百万円減）、受取手形及び売掛金の減少（前連結会計年度末比5億50百万円減）が主な要因であります。

固定資産の減少（前連結会計年度末比4億89百万円減）は、投資有価証券の減少（前連結会計年度末比1億38百万円減）、当期償却実施等による建物及び構築物の減少（前連結会計年度末比1億11百万円減）と機械装置及び運搬具の減少（前連結会計年度末比1億27百万円減）が主な要因であります。

(負債)

負債合計は、208億67百万円（前連結会計年度末比20億18百万円減）となりました。

流動負債の減少（前連結会計年度末比16億20百万円減）は、支払手形及び買掛金の減少（前連結会計年度末比11億32百万円減）が主な要因であります。

固定負債の減少（前連結会計年度末比3億97百万円減）は、社債の減少（前連結会計年度末比1億65百万円減）、長期借入金の減少（前連結会計年度末比71百万円減）が主な要因であります。

(純資産)

純資産合計は、123億9百万円（前連結会計年度末比2億31百万円減）となりました。

これは、配当金の支払、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少（前連結会計年度末比2億33百万円減）が主な要因であります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、16億64百万円と前連結会計年度末に比べ12億56百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、減価償却費(6億60百万円)等の資金収入がありましたものの、仕入債務の減少(10億14百万円)、税金等調整前四半期純損失(1億45百万円)等の資金支出により、7億60百万円の支出(前年同四半期は1億50百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入(99百万円)等の資金収入がありましたものの、有形固定資産の取得による支出(3億58百万円)等の資金支出により、2億29百万円の支出(前年同四半期は2億64百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、長期借入れによる収入(5億43百万円)等の資金収入がありましたものの、長期借入金の返済による支出(6億41百万円)、社債の償還による支出(1億65百万円)等の資金支出により、2億66百万円の支出(前年同四半期は1億71百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月17日に公表いたしました連結業績予想を変更しておりません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,960,684	1,695,251
受取手形及び売掛金	5,368,804	4,818,361
商品及び製品	1,444,206	1,425,035
仕掛品	116,214	119,907
原材料及び貯蔵品	1,529,444	1,516,156
その他	278,581	355,644
貸倒引当金	△144,710	△133,737
流動資産合計	11,553,226	9,796,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,894,813	4,782,833
機械装置及び運搬具(純額)	3,548,407	3,421,108
土地	11,434,287	11,395,230
その他(純額)	1,175,079	1,211,534
有形固定資産合計	21,052,586	20,810,707
無形固定資産	171,305	148,938
投資その他の資産		
投資有価証券	1,318,223	1,179,601
その他	1,323,142	1,236,819
貸倒引当金	△26,209	△26,209
投資その他の資産合計	2,615,155	2,390,211
固定資産合計	23,839,047	23,349,857
繰延資産	33,650	29,922
資産合計	35,425,924	33,176,400

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,833,725	3,701,311
短期借入金	4,943,821	4,898,114
未払法人税等	67,443	73,675
賞与引当金	278,530	278,743
その他	2,870,445	2,421,517
流動負債合計	12,993,966	11,373,362
固定負債		
社債	2,216,400	2,051,200
長期借入金	4,724,357	4,653,078
役員退職慰労引当金	207,446	185,447
関係会社損失引当金	7,000	7,000
退職給付に係る負債	1,340,857	1,298,853
資産除去債務	135,450	135,450
負ののれん	3,713	—
その他	1,256,604	1,162,958
固定負債合計	9,891,828	9,493,987
負債合計	22,885,795	20,867,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,674,750	4,674,750
資本剰余金	5,473,962	5,471,367
利益剰余金	2,628,430	2,394,548
自己株式	△196,284	△196,284
株主資本合計	12,580,858	12,344,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	233,873	221,669
退職給付に係る調整累計額	△280,901	△263,260
その他の包括利益累計額合計	△47,028	△41,591
非支配株主持分	6,300	6,259
純資産合計	12,540,129	12,309,050
負債純資産合計	35,425,924	33,176,400

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	14,334,043	14,473,029
売上原価	9,559,944	9,302,555
売上総利益	4,774,098	5,170,474
販売費及び一般管理費	5,220,096	5,549,031
営業損失(△)	△445,998	△378,556
営業外収益		
受取利息	2,003	1,527
受取配当金	28,612	24,394
受取賃貸料	82,491	80,729
受取保険金	8,169	114,418
持分法による投資利益	—	17,379
その他	53,770	65,012
営業外収益合計	175,048	303,462
営業外費用		
支払利息	49,176	46,499
持分法による投資損失	12,589	—
賃貸費用	27,605	27,061
その他	42,797	38,067
営業外費用合計	132,169	111,628
経常損失(△)	△403,119	△186,722
特別利益		
固定資産売却益	7,139	1,284
投資有価証券売却益	—	24,063
子会社株式売却益	—	17,399
特別利益合計	7,139	42,747
特別損失		
固定資産売却損	—	342
固定資産除却損	0	395
投資有価証券評価損	—	800
特別損失合計	0	1,537
税金等調整前四半期純損失(△)	△395,979	△145,513
法人税等	△74,153	33,949
四半期純損失(△)	△321,825	△179,462
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,457	2,665
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△320,367	△182,127

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△321,825	△179,462
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△75,079	△12,203
退職給付に係る調整額	17,928	17,641
その他の包括利益合計	△57,151	5,437
四半期包括利益	△378,977	△174,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△377,519	△176,690
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,457	2,665

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△395,979	△145,513
減価償却費	721,257	660,921
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,755	△10,973
賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,289	4,612
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,752	△5,229
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,370	△21,999
受取利息及び受取配当金	△30,615	△25,921
支払利息	49,176	46,499
子会社株式売却損益(△は益)	—	△17,399
持分法による投資損益(△は益)	12,589	△17,379
固定資産除売却損益(△は益)	△7,139	△546
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	—	△23,263
売上債権の増減額(△は増加)	513,829	331,869
たな卸資産の増減額(△は増加)	△91,650	28,657
仕入債務の増減額(△は減少)	△314,726	△1,014,793
未払消費税等の増減額(△は減少)	△8,371	△39,298
その他の資産の増減額(△は増加)	△137,457	13,332
その他の負債の増減額(△は減少)	△57,952	△514,558
小計	258,546	△750,983
利息及び配当金の受取額	29,981	25,009
利息の支払額	△48,921	△48,265
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△88,994	13,996
営業活動によるキャッシュ・フロー	150,613	△760,244
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	△13,020
有形固定資産の取得による支出	△252,773	△358,494
有形固定資産の売却による収入	8,510	2,978
投資有価証券の取得による支出	△7,289	△7,610
投資有価証券の売却による収入	—	70,647
関係会社への投資の払戻による収入	—	58,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	99,901
貸付けによる支出	△93,510	△157,380
貸付金の回収による収入	98,474	79,091
その他	△8,150	△4,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△264,738	△229,896
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	106,205	152,899
長期借入れによる収入	100,000	543,000
長期借入金の返済による支出	△679,086	△641,606
社債の発行による収入	989,545	—
社債の償還による支出	△115,200	△165,200
配当金の支払額	△85,891	△51,791
子会社の自己株式の取得による支出	—	△5,300
リース債務の返済による支出	△144,274	△98,314
財務活動によるキャッシュ・フロー	171,297	△266,312
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	57,172	△1,256,453
現金及び現金同等物の期首残高	2,322,242	2,920,654
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,379,414	1,664,201

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの事業は、石膏ボードを中心とする建築資材の製造、販売を主に、これらに付帯する一切の事業を行っている単一事業であります。

したがって、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。